



神戸大学交響楽団

第75回定期演奏会

2025.12.19 (金)

19:15開演 (開場 18:15)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール



神戸大学交響楽団顧問
神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授 大田美佐子

本日は神戸大学交響楽団第75回定期演奏会にご来場頂きありがとうございます。縁あって顧問という名前の応援団長を務めております。

今回のプログラムは、チャイコフスキーの幻想序曲『ロメオとジュリエット』とリムスキー＝コルサコフの歌劇『皇帝の花嫁』序曲、そしてメインはシベリウスの交響曲第一番。客演には、シベリウスのスペシャリストでもある新田ユリ先生をお迎えします。この三つの作品に響きの花を添える神秘的で、ロマンチックでもある多彩なハーブの音色は、ハーピストの小原彩乃先生に演奏して頂きます。今宵は、素敵な先生方に導かれた神大オケの気持ちのこもった演奏を、観客の皆様とともに楽しみたいと思います。

共演してくださる客演の先生方、いつも変わらず楽団の演奏活動を支えてくださっているトレーナーの先生方、上田真紀郎先生、大熊勇樹先生、小谷康夫先生、小山亮先生、徳田知希先生、中井信輔先生、長島徹先生、西内泉先生、村瀬司先生に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



響友会会長 八木 秀夫
(神戸大学交響楽団OB・OG会) (1970年入学 チェロ)

本日は神戸大学交響楽団 第75回定期演奏会にご来場賜り、誠に有難うございます。

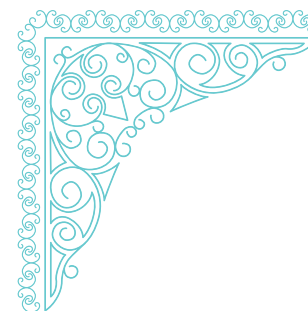
神戸大学交響楽団は本年 創団110周年を迎えることができました。110年の間には当団は多くの苦難を経験して参りましたが、その中で最大のものはやはり第二次世界大戦でありましょう。この話題になりますとどうしても触れずにはいられないことがございます。

昭和10年頃、六甲登山口交差点近くにエクランという食堂が開店しました。ここは次第に神戸大学生（正確には旧制神戸商業大学生）の憩いの場（溜まり場）になっていったようです（エクランの2階でマンドリン部が練習していた時期もあるようです）。その後、戦争の状況は次第に厳しくなり、多くの神戸大学生も出征して行きました（神戸大学交響楽団の多くの先輩も同様だったことでしょう）。しかし、戦争が終了しても残念ながら多くの学生は帰還できませんでした。エクランの広瀬さんはまだ帰還しない学生を迎えるため、命が続くかぎり食堂を続けようと言われたとのことです（私が学生の頃も多くの学生が利用させて頂いていました）。この話は多くの神戸大学卒業生にとり胸に迫る忘れられない事柄でありましょう。

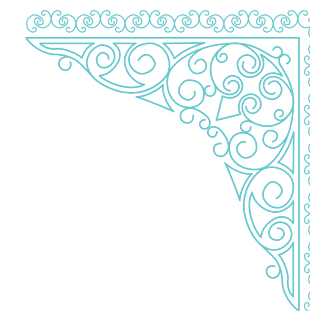
現在、神戸大学交響楽団が充実した活動を続けることができているのも、長い期間においてこのような数多くの方々のご尽力・ご支援を頂いたお蔭と存じます。ここに改めて心より感謝を申し上げ、今後とも皆様方には当団を温かく見守って頂けると有難く存じます。

神戸大学交響楽団団長 奥野陽太郎

本日はお忙しい中、第75回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。団員を代表して、心より厚く御礼申し上げます。さて、私たち神戸大学交響楽団は2025年に創立110周年を迎えました。本年は学内の合唱団との合同演奏会や、東遊園地における屋外での依頼演奏など、様々な新しいことに挑戦した一年でもありました。特に変化が激しい昨今の時代の中で、"神大オケ"として変わらないことや変わりゆくこと、その一つ一つを大切にしながら前の世代から次の世代へと、歴史は脈々と受け継がれています。そして本演奏会をもって引退する4年生にとってはこの場所で迎える4度目の冬、今回はフィンランドやロシアの作曲家による作品を中心に据え、皆様を幻想的な冬の調べへと誘います。最後になりましたが、本演奏会を支えてくださる、諸先生方、OB・OGの皆様、各関係者の皆様、そして私たちの音楽を楽しみにしてくださるお客様に、心より感謝申し上げます。



PROGRAM



神戸大学交響楽団 第75回定期演奏会 Kobe University Symphony Orchestra 75th Regular Concert

歌劇『皇帝の花嫁』序曲 (7分)

The Tsar's Bride

N.リムスキー＝コルサコフ

Nikolai Andreyevich
Rimsky-Korsakov

指揮 今西 夏輝
コンサートミストレス 池田 愛花

幻想序曲「ロメオとジュリエット」(21分)

Romeo and Juliet (overture-fantasia)

P.チャイコフスキー

Pyotr Ilyich Tchaikovsky

指揮 新田 ユリ
コンサートマスター 桑原 陽

休憩 (20分)

交響曲 第1番 短調 作品39 (40分)

Symphony No.1 in e minor, Op.39

J.シベリウス

Jean Sibelius

I. Andante, ma non troppo - Allegro energico

II. Andante (ma non troppo lento)

III. Scherzo: Allegro

IV. Finale (Quasi una fantasia)

指揮 新田 ユリ
コンサートミストレス 塩月 佳穂

2025年12月19日(金)19時15分開演

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール



後援＝兵庫県・神戸市・神戸市教育委員会・神戸新聞社・朝日新聞神戸総局
公益財団法人 神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会

